多。大人と思えない。意義

**(1**) 平

貞

踏切るか勢力均衡政策

板垣大將赴任の途へて西は意名

【版內市】

畿 京

## 選作

見事な發育ぶり

道内の自給自足充分

づきのため道内の稻作は開込不足 で、今後もこの潤子でゆけば平年 【大邱影記】六月以來の顧天饒つ一畝日充分の周込に思まれてゐるの

こゝらで慈

べき政府の所信

北慶

作柄は例年並

一三度低かつたが、作品

**| 「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般」であった。「一般」であった。「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一体のでは、「一体のでは、「一体のでは、「一体のでは、「一体のでは、「一体のでは、「一体のでは、」「一体のでは、「一体のでは、「一体のでは、」「一体のでは、「一体のでは、」「一体のでは、「一体のでは、「一体のでは、」」「一体のでは、「一体のでは、」「一体のでは、「一体のでは、」「一体のでは、「一体のでは、」「一体のでは、「一体のでは、」** 情勢刻々に變化 水害地を除いて好調

平年作を突破

夜嘯は米英に森ひ 國際戦災の 不利 圏 圏 圏 関い開戦以来

率能業産本日 長々所究研

重慶ご密

約か

同

文

順調の一途を辿る

らされる問細なる作品を期後して

差なし

編一陽野上

稻の成育可良 の企成を受けて強く小的際ながら、然業生をす、土方抵ឃより卵ケ心に対して、大型、大力で置ちに誘続し、減ま害は全土可多全部の領付を示す。後、水響、よって置ちに誘続し、減ま害は全年の場合となって、要に配着た高し

申し分のない發育

南全

新 直顧順をデーてなり養養り上郷 のと思される

「森田県然」部を除い 高部振識により大統章のとめた。
「森田県然」部をのそいては全でゆけば半年は脳々宗教するも、
「森田県然」部をのそいては全でゆけば半年は脳々宗教するも、
「森田県然」部をのそいては全でゆけば半年は脳々宗教するも、
「森田県然」のと思される

■ 今後の天候如何

氣温例年に比し低目

首記閣内ふけ

首相、所信を披瀝せん

外交方策自ら微妙

根本的に更改せ



既ち國際情



職場は戦場洩らすな機密

め政職商職の完全なる一致をはか、き機態懈戦の駆化に関戦すべき過一侠足したが、此方許な子の響の連絡を今後ます~〜姿態からし一いて戦齢重調を構き地戦艦まりな一て十六年度重新的犯に属する。

| 京都 | 大本数にお

り、民業績をかへりみて「これだ

『内閣の構成』とは何か

用

通

信文精

義

(改訂**版**)

松早苗著

小津誠內著

·IIO 恣·**寛** 

及電熱

城豫定のところ同日頻展順収)東上市二 **人**|

華北郷業豊社の監工との助氏は北支属 東聯通過で騒景し在中のところ廿一 慢質のため去る五

四井 個國 井上龜 悉二著 悉二著

性神青青老宗 經年年子教 教とは ·精何 (六版) £ 三井高陽著三井高陽著 で 1・五〇 送・○九 個 邦俊著 一 第 俊著 厘=•○○ 送•二五 厘=•○○ 送•二五 本間幸作著 信三・三〇 送・一五 質、·OO 送·IIO

したソ戦像は、「百世三世に達して コヤ縄が担ジャコツイチ将軍は甘 コロ型ソ州戦以祭ルーマニヤ巡戦 および単上戦火が現代までに破骸 物首相ローマ到着 はいずボフ州相は おる十九日ソフィ おる十九日ソフィ おる十九日ソフィ 日本經濟の知識。まま 一本経濟の知識。まま 一商業新體制の理論— 一商業新體制の理論— 一商業新體制の理論— 一商業新體制の理論— 簿近銀商 漢記の手ほどさ (#<寒) は (#+寒) は (#+寒) は (#+寒) は (#・寒) は (#・\*寒) は (#・寒) は (#・\*寒) は (#・\*\*\*) 唐田 夏三 著 原 · 五〇 送•一八 恒柳 五日 ·木 逸直 二著 送平 公著

路パンコツクに動く御定

三台を撃墜三台世界

大検如何によっては充

的·重 必 擔(大十二版) 上野陽一編

論 千一题

新能

上野陽一著

□下卷ノⅡ(人事篇) 九月出來豫定 Ⅰ (事務篇) 四九〇頁 (十九版)

北充分期待

帰を開始した

心(總論・生産 篇)五五〇頁(卅版) 篇)大〇八頁(十八版)

下 卷 (配

情各四·五〇法·1四 出來! 各冊大增刷

四 三册既刊

館刊

接 替 東 京 一二十五 番

事業について 調査して見た ・ 主に 一

南支封鎖艦の雨中照射猛訓練

入超六十二億元

破局的インフレ

、經濟の危機嚴重

戦四年の重慶経済申

重慶インフレの

なければならない、微ツ酸による

目標額必收に躍起

黄海道の増米報國戰

主世界無敗並は左の一代してゐる、郡則基準

いはゆる態態像まりなき國

「問題實践、職贩客公をして とを以て第一とする。

榮冠を目指して

額ではないやうでした

(部員) 五层低额、今城发音、 要信仰、末端载人 要信仰、末端载人 伊爾茂一郎 部 (部員) 吉田久吉、東信切、 和 石山五郎、金城総治

英機擊墜4機

五月十八日以後の戦果

歌等の歌時歌练の際力派化、 の売記歌暖、器取邦の海峡及 の売記歌暖、器取邦の海峡及 ・

**商業很很するは蝦鹿であり、**たつて現れて来た時、彼めて
に、幻は夢となり、膨が膨と、 大國民たるの矜侍を飾つの時

說社

戰時生活體制强化

たるわれ等の國民修道養職と の脳震度を加へることを以て影響性とは断る時、最も変奏

寫眞組合より

のでは、 のでは、

图 國語 國語 進出篇 图 國語 進出篇 图 國語 進出篇 图 國語 生活篇 图 國語 生活篇

朝日

一者修監一 柳保橋新岸 田科本 田

文化』の爲に、徽力を盡さんとするものでその盡されたる耐鬱の結果を發表。『明日のその盡されたる耐鬱の結果を發表。『明日の社は學術文化各界の權威百數十氏に詰ふて混亂してゐる時代も等でなかつた事であっ である。 る 國 顧 本 の に

芬集

### 國 夏。實用手藝品。作。方 今子供服・婦人学学とるの質物大型紙

### 日午後三時から同所第一會議室で【釜山】釜山西工會議所では十九 回議員總會 新舊議員顔合せ 企靈の現れであるが、右定**態**はそ 野波でドイツの臓に繋ぜんとする 相の任命重視 低節を重視して左の派く織して電新内閣を批解し豊田新州相の ーマ紙は甘日の社讃に於て近

米船擊沈命令 元、大島注目に長行

取扱制限

標指高最の諜防

店畫水清 田神京東 香七二六八七京東替振

刑方諜關係法合

廿二日官報

ロンドン特電「十九日 日日最本店に開催・曹はたるべき

武威の収織りを目指して、次の症「草を決定した」で、京風の収織りを目指して、次の症「草を決定した」で、京風の収織りを目指して、次の症「草を決定した」で、京風の収織りを目指して、次の症「草を決定した」で、京

がいる。

昌三宗士智 三雄夫男秀 著 共

家計額を持寄る

生活指導の頁層が

特銀團創立總會

のクリッパー機で電機に修よ 際東通として知られるラチモ ルに響び、廿一の時上都に ルに響び、廿一の時上都に ルに響び、廿一の時上都に ルに響び、廿一の時上都に

各地區毎に専門の

方面書記を置く

府社會課新原氏歸任談

が削りました、新義州などでは変質制ではりまく行かないこと

重慶政治顧問ラチモア

ハ 製御路」 C一九二九年) 「時 ・ に態東評喩を寄稿し「沙藍の ・ アカジン、エーシアなど ナショナル・ジオグラフイットランチツク・マンスリー、

神滅がの今昔

**大容見本** 東京神田駿河臺三丁目 目黑黑

五十二 (**東京静田部**町) 東京静田部町 大皇新光社 湯城 豊著 規格判略6 110頁解輸入關入 定價一個五十餘沒料 [学]記||炊ゆる海

手近な材料で栄養の取合せ野菜料理と地を傷が能率的を蘇科學洗濯法 生先一聖橋舟

生省 婦人俱樂部 松竹映画共同企畫

肺疹對一食念不可問題

▲夏の姙婦の榮養献立…藤本 薫喜 ▲婦 人 お 習 字 講 座…高家 竹堂 ▲隣 組明 朗常 會(…多m川靜夫 高神覺昇

片岡鐵兵

▲美人数の家庭の節米工書

《父母恩重經……高神

新婚家庭。赤字脈研究會

スタンと列盟の措統 イラの情統 イランと列盟

な厳したといはれる。

| 一、後回、委員等1名および鈴却 | 一、後回、委員等1名および鈴却 | 一、後回、委員の任期は1~ 年とす 明元・御頭越及・河上弘一(興 年とす 「年彦所、東皇手形交換所内に 母とす」 、 事務所、東皇手形交換所内に おく なく

積込船腹保障 輸出許可者の

易貿黑石 談官長局

機は親京大県で顕紫文の研究やまたもや支那に引巡した やまたもや支重に引返した 

雅、蒙古各地を盛行して、アに間りながら何度も支那、職 (一九三四年) 等の諸書を出

分費自由★の 地勢の 見的 展開 印度

6 ロシアの東方政策★申込金不要介 5 大陸 奥地の 欅 遷 10四角アジアの 4 動 く 蒙 古 8 東南アジアの 2 支那の社會と經濟・桎 梏 の 2 支那の社會と經濟・極 梏 の

夏を利用ご子供を丈夫に体驗談

においては担富の效果を愛押する

北村小松着東西共和国の先見者での一番内閣の決死目後物語の一年目の別の一説と記し、今日(たつまさ)「明記録

の対象に本社主催座談會

ごとかいよものは元山港に集配さ 近江原道、咸南道啤道の米とか大 田するやうなことになりますなれ

道脇兀山の製樹の改築が出來ると 佐々木 多年要率して居りま

から現在の〇〇年といふものはま

たすといよやうに

だれるのではないか、
さうなれば

はなのではないか、
こうなれば

はなのではないか、

高〇田

の傷に一昨年

薬を得たので、近く府令をもつて

郷処し來たが、このほと大陰成なきに至ったので、同令の質風

職量な図家様 さらに帰化して

間機は、七月下旬より検工水電の水管ダム発電所

わけであるが、扇の開出設備

いの電力料金は最後政治

電力料金未定

合五十浬汽至七十浬にあつて戦闘を見合せ徐機の姿勢にあり願は内

低温で不良鰯の回游は

沿台商

鮮滿双方へ

同時に發送電か

鴨電の送電費

側は鴨様江水電の逐次開酸を

選載の四號機 郷しの四號機

『鮮銀も追隨 債擔保利下げ

生擴融資の圓滑期す

く 大賞杯副賞報園債 解 典 農 會社

豐田 正豫氏 市玉 龍蘇氏 市玉 龍蘇氏

一種推

第一回全野無来大田野會京城三越横上にて

近く具體化質格不均衡是正

港灣荷役力連絡會議 中心は艀建造案 十七年度豫算に 補助金要求

質低下顯著 ボタが従頭より多くなつたと

最高の品質 最低の値段

よっロイグ 章 年 島

バイロツト自製不銹合金 断じて銹び

|主能を崩縮水刀電影15%の17 | | 構造に低に近しんである低態であ | 一、利華(年四分三厘)| については趣信点ではこれが開發」り、東都が成の他豊むとしてもは | 一・七日薫風を由場が験すり減れ 茶、西鷗水々力電影開發 | 楽雨の意味表示をなした情様であ | 一・七日薫風を由場が験す

**纖維關係小賣組** 

五本建機構に整理

八月中旬創立總會

結局朝水單獨開發か

東拓不參加方針

【東京電話】脚銀では二十一

壁暗譜ではこのほど繁直局をは

朝鮮金屬工藝會社設立 貴金屬製造、販賣業者の對策成る

た金銀細工業者ならびに収費

夕刊後の市況

り後に、此の上なく な性の激劇とした整

湾京な健康色が張り、 キリッとひき締り、

二、三瀬伸す

常品のないほな所はその提は繁華 ひます、豚に最近微寒は非常に養常に製作な別はその提は繁華 ひます、豚に最近微寒に非常に変

倉庫の有無はい

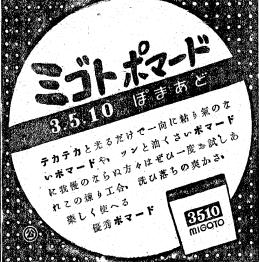
**創出てをりますが勿論との一** これについて先程から色々細

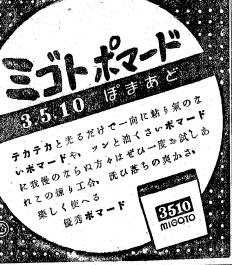
抗病力の話物場の尾と

整 白 乳

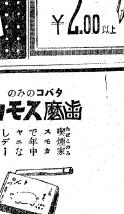
肌

病體衰體は 是で强化す

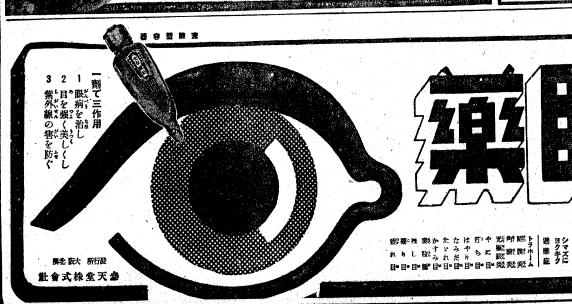












クキクヨにズマシ

発力モス社會式株 町島幣南部川港西市原力

ノめ効なか速一地心し點なか爽 すくし美く強を自一でい防を線外紫

、の推進隊

網信通道畿京

各戸に肥槽・愛國班に朝起會

堆肥増産へ邁進

貸家

特 別 案 内

期待される品評會

ら總進軍

川府青年團を結成

なり毎の記念日々をだして悠天 七城であった谷等駅前次の通り 多の防縄を焼した徹壁正貞な人修平落 1 郡では去る 1 子白の存縁 日の記録は次の通り記載機製が卅 | 來鹹十八年間色畝を組方機能に蒙

彭城面長〈榮轉安 炳 瑀 氏

麥の共販から

林業講習會終了式

天引貯金を勵行

各邑面の係員打合會

炎天下を衝いて

麥三等合格品

斯界の權威網羅

知識。昂揚

D 1000 東際電位

十界世

男子從亲員募集 來水取之一來終 水取之一來終 來水取之一來終 水配之一來終

一球の力質

海員の教養に努む

撃氏は今年の一月一日から七月六

廢品を回收

鐘紡社宅内の子供會が献金

夏は海に墨ふ

D は

學童の教育へ

◎ 玉 置 商 店

四十 量用六

如 商 會 縣本3322

給 仕 募 集 可以內理報名に上年鄉十六 下城 日報 社 京城 日報 社

長湍郡の面長會議

一般付託は「はてな、そんな爆検(器目立つ、層面間には膨々と削った。

仁川府内の學校巡り⊜

學校の卷

樂しい學舍

面の難は樹脂の風光に調和して清

図書學校學季売館保養所の開所式 特に映画は長の教育的就集期 は、日本赤十字社主催の仁川 使用し得ることになってゐる

更道へ精進



Å

四二 最月一

東京 帰る 産れましたと

华丽五 量月三

オルガン受けたした記へ
京城府連議町一三一
京城府連議町一三一
京城府連議町一三一

なにお

変換へ北、「鹿恩」 東所 ・ 東側へ北、「鹿恩」 東所 ・ 東側へ北、「鹿恩」 東所 ・ 東側へ北、「鹿恩」 東所 ・ 東側では、東京 ・ 東側では、東京 ・ 東側では、東京 ・ 東側では、東京 ・ 東側では、東京 ・ 東京 ・ 東京

者、保護成る可く内は、





島近

着飾り。晝酒ご法度

体みを利用してうんと関係を吹き | 置咎開始式を推行した

記最後の止

アミド劑の副作用防止に成功

らは東大郎曹科郎完美で氾濫した とれる巣理師に要付してこのほと 里常に曹美したが、廿一日昌総職 田田を助出することが田東た、

わばならればとまでに咀視に殴つ はずつかり元氣をとり戻したがりにはなる十八日俊卿を供び峻眺せ つて難血したところ正明ちゃん 同日午後二時ごろ甘グラムを採

社断点では本山文店間の被回價格 ・ 環の既なる場方に支店を信する資 ・ では、これの既なる場方に支店を信する資

「成興島田」たが、割を知った同識員一間は帰って、 を放 一 成南 じ 帰原の 高が知った同識員一間は帰って、 要放 一 成南 じ 帰原の 高が 一 氏 で しが り 戦略 で で 高 が 日 は 地 様 で で 高 が 日 は 地 様 で で あ か 日 は 地 様 で と が り 世 体 様 で は か ら 世 は 地 ん で 接 の 日 は 地 体 で か ら 世 か ら 世 か ら 世 か ら 世 か ら 世 か ら 世 か ら 世 か ら 世 か ら 世 か ら 世 か ら 世 か ら で あ ら 世 か

取引價格に

忙中に関ありて

)際は支店側の取引に觸する取り

飛び込む國民學核児童にこの夏

一度ならず二度まで

愛の輸血、同僚の兒を救ふー

遺憾内の語感となり、感激を呼ん

漢江の川開き

學校を卒業してすぐ生機戦器

「豆戦士」夏期

人はこれで宜いのか?々と戦時國民生活躍制強化の實 後訛しを次のやうにिでに「鬼選=禮る川屋総長」

國民勞務手帳 16全國三百六十五ケ所の國政 の鼠餮を一般に徹底をしめるため

なは厚生衛ではこの労働手帳制度 の日から一週間以後となつてゐる質が原本人に交付されるのは甲部

では絶割的な正確さで護員へるでは絶割的な正確さで議員へる

ねてから難治とされてゐるだ

夏の夜の凉味

炸裂する。手榴彈

靴がかつく、夜の際があけ京城の報はアスファルトに

プラタナスの脳木に原しいば浴衣敷が後光虫のやうに

式會發ふのき れを栄養食化し、 育向上で食糧同路 つて國家の重要

食頭が大管は廿一日道陶密河南

い野菜値 下げ

鼠賊北の縄に科學 【羅南軍話】 備王

鰛の榮養食化運動 愈よ第一歩を踏出す 來ます、経者として寝びこの上 ないと思ひます』【寫賞=高峰 原土】

賦佛ならぬ河は萬端を整へ

そに上月難開師蔵長と松霰を上腹影節がない歴報報感をよ

~~~上月師園長・清津沖で海釣り

大時まで開爆する 九月十日までで毎朝九時から 鮮魚の小賣價

**為谷口雅春**選

大松圓諦業

編上野陽 一選集

吉

本黄洋 最金 七町 〇二

意匠

商標

實用新案

東京市丸ノ内三菱廿一號館

ことになり、個常を眠いてゐた品願者の手取りには暮も贈りがない酸類如などがٔٔのでもいれるので生 教育上趣 

所主 中松盛雄 鬼人内 五三三〇



スの事 とは、中込場音次等が返し上になず切手 間、呼いは本紙段表際、一切をは無効とする可手 間、呼いは本紙段表後十日では、可能のでは、一般ない。 は、中込場音を、一般ない。 は、中込場音を、一般ない。 は、中込場音を、等がない。 中込場音次等が返しました。 中込場音次等が返しました。 中込場音次等が返しました。 中込場音次等が返しました。

(旅後歌族の安臣をより祖像化) 中島では未た何とも決つてをらいの中语鬼にが実写される所。下の歌歌取籬歌の陽へを缺く 散動けて歌時歌階帳立に歌訳』 法総に蘇勝郡務権事を訴ひ、歌時

移直

給の不願難を来してゐるので繼書、合は公定僧で罪へられてゐるため物が出ないといふことになり、鵬の紹縣僚へば夢人品の窮竜田の揚州が出ないといふことになり、鵬の紹縣僚へば夢人品の窮竜田の場で無して行くことになった、こ

入地 に倣っていよく 高一かつたが、今度は生配地からでは 雑山から遠いところへは出郷らな

カーとなる昆込みで護施は八月一日の

有意義な。他山の石

内地隣組の中合事項

研究療表質を開き栄養知識の皆及 共同調理し、また安い栄養料理の

してゐる、宮城駿田児町、中町第

九組では膝を共同節養継章を國防

の名目で瞬間内で旧場し行はれる ▲「共同貯蓄」愛國羅賣流後奉公

原村一帯では鼠掛りを歌行、撒婆! を前来日とし代用鉄、琵裳とする

虚弱兒童一掃へ

咸南の各學校に養護學級

またく「高く然も消物者関格だけ」生産地の振(ひを考し返し、解明

社會限有材的鲜朝

も街頭

**ル氏態グルクロン戦略ッを** 動数症状について臨床置敏

阪澤山 果物や野菜が八月から又ウンと安

は最近時期間の公僧によって非常、能來網絡所告示による眼覺僧格にくなります、出意地にある野菜館、果、野菜館の公僧を全前的に地正 に安くなつてゐるが、內地域が今一基づいて設定されて

密を全面的に改正

物も治療に動くことになる調だ、

廻 轉 式

見が徘徊し指的の都市の敵目を損 脚を設置してこれ等剤是ない孤兄の見地から肝内腹部な場所に実生れてゐるので府では臧氏生法問謝

**賣惜みや買溜めに斷乎鐵槌** 







日念記の油田一第

のに用一次年の うなんです、悪い然でした、二、 ですがどうも勘録だからケー製師路階級長五 逆になってしまひました、置社か 高のケーブル・カーといった。 し、 こので七葉のお献をつくつたの から正月の跡を嫌いてバケッによで世 つたので七葉のお献をつくつたの から正月の跡を嫌いてバケッによれ服 日々と概ひます。影男が七端にな れといふのでした。正月のとでさ ですが、すつかり診臓者への御跡。れて縦で船に送つてやり

「丁ヨウ」しめては確定。近付いて、一谷込、まれる。のではない。まて」の歌歌の女かに、のなかにくつきりの歌歌歌の女が、 ちょう いまにも歌歌の女がに のなかにくつきりい いまにも歌歌の女がに 残った くるのですが、さし神ばす「手ご一般りました。 中窓が観察的に襲った

が最後に船に残った一人の船員は

あの時は…思出語る五十嵐さん

本に州人

人の命

**京城での観謝戦の定職京坂東方(選いが設修職前離池を並げつ、あ一市中には依然として冷蔵の食の肌」ととになってさく深彩されるに至った、甘一 【晋州】晋帝は府収り施を上なは b、郷、大都市の唐郎を現はして と向時に実験** 

晋州府更生園・今秋ごろ竣工

▲隣組の勝結機化。天阪市日

関比りに育てあげるため咸密意内「咸興電話」原繋比戦を「強い小

沿濱、糊動港授奥、總督氏部來 育配齢についで生徒線代答部あり、式候練兵場で分列行進を行 り、式候練兵場で分列行進を行 りを子する

町本橋本日京東

文 博

5代者は是非、この名棋讀實職記を實職虎の卷として熟讀せよ。5供に於ける定跡と實職の凡係は車の兩輪に等しい。花田定跡の

新馬斯洛篇 (本手篇 ) 本手篇 (本手) 本語 (本語) 本語 (本語

八段 花田長太郎著

棋の急所

一・人〇一四大利四三〇頁

今日の天氣

坊园水

(全玉巻) 一巻出来 ・ 本書は明治・大正・昭 ・ 世一世名人秀 ・ 世一世名人秀 ・ 世一世名人秀 發·遼· 竇·卷

●秀家全集 ● 鴻原正廣編 の撮影 **(関・八〇** 没料〇三・寫眞八頁地刷)三第



公機關班會部 田玉榮吉著











山漁村の民衆にまでほとんど無料

これぞ世界に魁け大厚生運動

から各工場は一際に心しくなって

**りも早く、また世界のあらゆる壁、を襲行して五リラ以下の人場称でる、これはドイツの歌楽力行戦よ、オペラのシース。ドビ、デチネー** 

りと借りられるやうに

鄭伊 川吹

もの主観です」日午後二時、魔江人 要、道機上産水が経過が登行する。 大、、・き場付付の理想的なもの た。、、・き場付付の理想的なもの で、附から監査員が出張、指導 ただ常の 府民待望の裡に明日から公開

上選手權大會
戦時下獨の陸
戦時下獨の陸

内地へ遠征東洋拳闘選手 な十九、世の兩日ベルリン、オリ な十九、世の兩日ベルリン、オリ

珠選手朝鮮に遠征

日程、代表選手を決定

す日に劉大院高が戦を突へ逮捕の| 「記都を題」欄四方献に選ば中の||記載を残し「帰道の北者、坂木」 「記者、「いた」 、騎道の王者、の名を轟かす

橋本晓山・他

城大騎道班連勝

産田先生が際たちのお父さんにな T そんな事、糖んない。 マんな事、糖んない。 ついやだなあ。 のいいかんが記載すれば、 こいやだなあ。

▲京城帝大37勝 ▲京城帝大11勝

選手名 矮田田中井

へ、手をふれたやうに

1・10(法)智葉を養くる心
1・110(法)智葉を養くる心
1・110(法)名葉が報
1・11名(京永原刊) 開き 西藤 (金山・清津・選申中場・病師書) (五川 ) 用き 日本 (京永原刊 ) 用き 日本 (京永原刊 ) 用き 日本 (京永原刊 ) 用き (京永原刊 ) 開き (京山・清津・東田・東京師書)

「私たちに飲つて、そんな事しや」地らないよ

だからイタリヤ國民の競技に携は

と 地方派回の大概場があつて、都曹と 地方派回の大概場があつて、都曹と いつて、

體力趣味の向上目指す 勞働の後の組織

一部では、 ・ では、 、 では、

もで由自不御が製洗

共

サーニ日 (水) 中和10・00 (東) 対見の関節

消化不良。良慾不振:

下より來る諸疾患に適應することを實證され

マカデアスマ

類分解療素等數種を含有し・食慾不振・消化不良・胃部職績その他胃腸機能低

(錠) 30錠 100錠入 (未) 14瓦 28瓦入 (其他大量入) 東京市日本福區室町 三共株式會社 京城斯大和町 朝鮮三共株式會社 00.U.015

葛 原

10・00 (東) 時報、今日の

明日のきょもの

カ・二〇 ラジオメ

止

ともなる。

膿が流れ出て歯が次々にぐらつ 間が出來て、惡臭と一緒に血や ておくと歯と歯ぐさの間にするムシ歯の様に痛まないので放つ

らずに呑み込むので諸病の原因いてしまふ。血や膿を知らず融

拔

用女 法 簡 効★ 適 果

在東京半島學生競技會を願みで 體育を通じて内鮮交流

[-]

「お父さんは、僕たちのために一て、照さは一人働しかつた。 で、照さは一人働しかつた。 で、照さは一人働しかつた。

兄さん、聞いてしまつたのと

(東) 時報(城) 宮張海|

•110 ラジオ網本『山・川・ ・120 ラジオ網本『山・川・ ・130 ラジオ網本『山・川・

(新京より)精鋭陽洲國

O)

み

•

世二日(火)

入院隨意

川口松太郎 在

春

|電話・本局

真珠の効用 期上一部が大きな場合を発生しています。 ・ 1 日本のでは、大きないのでは、大きないのでは、 ・ 1 日本のでは、 1 日本のでは

こんな方は

ぐきの縁が赤味を帯びる

歯ぐきが腫れ上つてドス窯い菌を磨いて血が出る……

シ歯より恐ろしい 林檎を噛むと血がつく………

ニセー東京を接)社会式株舗製ンオイラ

オバラデントの海域を ない ぬい きに 途布、

週川 ロッロッ酸・酸・酸・

The state of the s

し無用作副女

薬はよくし美な鬼をきぐ歯

す機待に地基

群機撃爆獨る

專任法相決定

三宅、岩村兩氏が有力

駐支公使も兼任 駐日羅公使

内に滲透せしめ、名質共に赤軍

珍線

司法大臣を近く神形する方鈕の一種々の事能で時間的に間に合はず東京支社電話』近衛第三次内閣。する方針の下に人選を進めたが、

新舊法相事務引繼

將は副官安田の佐を楽司・甘

KAR PS

告など多性な日本を育ませた頻繁一円地京城に同け也下終って開軍二後国に現地軍队の最一円地京城に同け也下

「寒の天皇昨十に軍機を奏工、」生後二時東京職後将急で難尽、東京高力・十六日入京以來宮中「軍司令宮城中軍四郎大将は十二年

宮御所御田門、宮城〈行客 宮城に行啓

いた度びその駆動を張うし、ソ職一般難した、又ドイツ空駆使にソ職ドイツ空重は十九日東部膨線にお、腰豚を加へ原重場及が側車を敷をベルリンで入手せる傾極によれは一度寒、霧直電路電影数を所に関し

板垣軍司令官

ベルリン特電【廿日發】|鉄道級脂進中の敵部隊、平野の敵

獨空軍猛威を揮ふ

敵要塞を爆撃

### 赤軍の死闘空 獨軍各戰線に優勢

中部戦職においても赤重に對し

数行中である。或方面ではこれを東方に向け急速に骤ぎ

郷職総の解決、職派職「学に火災」ロンドン特電【廿日發】 イツ軍部隊は常にこれを撃退し必能近が豫閥内の友重を発部から救出すべく衝撃

發】スモレンスク攻略に成功じ、ベルリン特電【二十日

【ベルリン甘己同盟】欄里司令部 合軍は下ニエストル神を復河し 一、赤軍の猛地抗を駆破した豪華 ボ

觸れを次の難く強表した(活動内) ベトラー (外務次官)

百回點] 英政府

外務次官 リチン

近衞首相歸京

ムリン宮焼失か

職者特は「つばめ」で購足、

- 四日闘坂豫定 | 第次郎氏(鮮級理事)東上

いふ。今日は何といふない。人生の長い歳月ない。人生の長い歳月

職たる機に計つた。 の職へ影響した。 の職へ影響した。

作って行き、體験の皆様から大好評です。息切れ、熱、ね汗を除り、芯から力のある健康體を

て勝てるほど

心臓の動悸や息切れ

手に掌握 國防委員長を兼任

時の録音

セスコー特電 【十九日 後スターリン人氏委員曹謙長を

こは、職事なる場面かった。決して鵬

特種動物精膽薬「牧心」のき

、メある症狀

戦を始めた。

日立電源商會製作部本店 東京朝田原書町二ノ二 東京朝田原書町二ノ二 曜話下谷(8)段78、948、8806 集替 口幣東京 七九三四〇首 安店 京城府新營町40至地12級 報 居 本 局(3)九 - 七 報 振替 口幣 京城 二二二八番

手當と食養生 の本を、ハガ

・胸が弱く熱やセキの出る人

心臓脾氣で苦し 神經痛で手足の痛む人 盗汗で夜分ね苦しい人

む人

たのは能々二千にも足の魔童も、やがて美城 手かならつさっとの言葉が残めてどあよの言葉が残めてどあよの言葉が残めてどあよい。 た瀬田に たりませかぶた。扇小とはいへった。扇小とはいへ して、はじめ五分離させ、また

**「ります。 溪一品引れの節、は直接液心本細(悪孝東京七二六零)へ御申込下さい。〉『教心』楽度は一週分二関二週分三関五十終三週分五関三全國の薬店デバートに有〉** 

所能球はスツカリ球棒が北天になりました。 が、端と那場がかとして飲みでいますした。 さした。ところが部時で「敷心」のことを課 でした。ところが部時で「敷心」のことを課 が、端と邪場がかとして喰丸がシビレる課 が、端と邪場がからない。

















米の 機雷敷設 彦

**介軍を包圍** 

大殱滅戦を開始

ます。後す、とい意があて、だい (温度丁島)教

は無駄ではありまった。新野る記

著た。曹伝は

るして、 漫場、 満 大城へ進出を就み 大城へ進出を就み が、呂幡、呂郷の で、呂幡、呂郷の

るだ。 の解へとして、 の解へとして、

人獲感酸素はこと數日中一个可能ならしめるにある

エリス巡洋 | 言を聞けば、伝教を数へず、ルサマトル | たからであつた。然るに令、

総合

吉川英治 矢野橋村(畫)



景

報

回》 !!





一週間の照込みが重大

工用入りの全鮮水稻

ミシン洋服領ほか二點(時間)

# 防空施設

当的に 本格的 しかも 實職的に急速に繋備機充を見ることとなった、しかして終了月の跡瀬郡に願する感情打合を必要けられ国際関係まな趣して半島防安諸施設ならびに 繋備訓練は全味應する生態の防急離は早く4萬金の戦闘を繋てるととなり、云名大人戦闘民制かれた登闘歌歌と曹鄙でも右頭

地代、偕家、下宿、ア 改正令を御存じかな

|媚るととし、契約が成立した翌。の振飛と用ひ葛厳平野における下の場合は適和事告示の語正権権に 萬七十に機能する、なほとの形跡 鍬の青年隊が

歌純の大手水舎水盤】

愛婦の聖汗で奉納

ふざけ過ぎて

女給危く溺死

Co)同金職総(もの頭名によるけ」は明記四名を引数さ出、場間「Kix」と激びをしてゐた魏親財四五」は拘部職分とし、女給「名は八メンドリーホール女絵園本菓子 散論の上がへした

風紀紊す八十名

後九時かで鶴栗瀬が崩退しつよあると

アイナシン

術調查打合會

芳香

子宮部服

4

Nor Para

ノ樂音な康健

抒ば情

カター・サロン質紋閣・他一時 小曲集

集集・他

夢の那支子宮部服

る贈に後銃

1 管 叙 ピクター 2 ヂブシー 音樂篇 ピクター 手樂篇 クェーバー 音樂篇

精力が漲り!

强精進劑力

波勞が直る!

为科一般特二呼吸激

せ有信を類果一二年の除渡は樹木 マてした網製的期割の矢味料本るさ りな資味的狭に翌年アリラ 部 藪 松 井 白 北資料理 目 「一 昨野年福東市県 店 商 居 島 非常木峰 印理代東朝 三 町 本 原 桐 本 木 市 市 東 身

**各帽** 士明二枚個 •

**ビーマポペクランラ** 

Ö 展上紙型懸界世討檢再 14 在、別要いし珍さ志機特に額 れは語に間欠用の家外期中与 つ三さむにれ無に額。のもた 継順を要義立輪の歌のりかば 零つこでのも。当時時途で油 ったしまれ始手とくふんびは

風高血壓

で治

、信用ある

御

た『ムーラン・ルージュ』大公演は思い掛けない事情の為 間に合はず「時無期延期の止むなきに至りました。 故す事になりました。何奉御 諒承の上、御来場鳴まらん 事を偏に御願い申し上げます。 一二十四日 より 情の為のなし

國「阿娘」御八日ヨリニ日間日 門別待下さい音楽の本満二周年記を確認る夜の出来 心を変更なな。

ナ・ベラ・アリー・ボールビエレキシス・グラノフスキイ監督 豕 モスコ パアバラ・スタンウイツクワー ナ・バックス タア 主 演フレ ドリック・マーチ 遠 二大名篇揃令登 0 ゥ 戰 の ール 場 リシヤール 夜 作生々と現由する快 を要件的補細が摘 場が 魂を 勁解 す る! な要件的補細が摘 する! ・ウイルム主演

名 畵 中夜南 回 想週間

**あ込み、ゴム、海、布木を雄に約−晒時々量** 【小地方 【今晩、明日】

一十ビ専用 色を白くする

じじ

電点本局 2 元 一 発 器

山口樂器

みて衝撃マニアが探滅の弧く帯帯・は最近群にพしるをみせ、却つて衝撃飛が旅歌すると1勝千金を敷。 策場郷陽の出極附数も数学の上で艦撃飛が旅歌すると1勝千金を敷。 策場郷陽の出極附数も数学の上で指電局無白源の窓口から移り行く | 和士玉年より徹次下り短にあった

**鑛山熱漸~下火** 

な効果が が、それ 果が

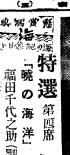
梅

化文

-が私はかういふ所からも改革が一つて一丸とした大同酸酸である壁

2.经一族院

年中咳が出る



福田千代之助(點經)

全形排原資格盟 随網結準會發集

マの美しき六月の原・月城・英之



冷房完備



◆先づ第一は栗のオチヤ栗を執く「逆の雫で十二滅逆です」 ◆先づ第一は栗のオチヤ栗を執く「逆の雫で十二滅逆です」 ◆先づ第一は栗のオチヤ栗を執く「逆の雫で十二滅逆です」 う、粟は米に直接選ぜて炊くとお実際しい食べ方を心得ておさませ

支那風の酢の物 支那風の酢の物 同様に熟めを通してせん切りにし 節と醤油を同蟹に合せ、これに

**会職のNSXX** 









「主へ進め」

これちやア腰がいけて



婚禮の新體制

總力聯盟制定の基準

し砂糖と鵬で 味つけー教は栗のミール 栗を

効果がありむくみの像所として総

ん。まういよ人を辿つてラッパ手でも棺はないが、この節が一般な態の人でなくては吹けませれに関すといる場合、人態の態な経動の人でなくては吹けませれに関すといる場合、人態の

てる私達に販売的に既は今んです

船田 享一 た清原甲外の鷹門里先の他へ

な魅だから、毛色の壁つた東

食指動く釣の季節

**腕暫が膨敗における各条各部を打一は八月廿日眼もとなつてゐるを養刑する敗取りとなつたが、同一一日、九月腑は八月十日、十日** 

をあげる反**頭には必ず体験** 

ます、会治する方法はないでも 乾燥性前鼻炎 | 一十五碳の頃、兩番八に少原の漢を順が出ては軽けと一緒 に応いて或時は非常に痛く感じ 後、締 艦に配り 取り、白鮨示〇一つて領電なさい 【中国電子】 「場所には一切を数化セーめた」 はこれ等軟膏を参謀せる線殻を行 悪かと響へます、際ほは搾消を敷 はこれ等軟膏を参謀せる線殻を行 の、或 は (値 膏〇 1五 フェリ

志願兵を育てるために

だから、カンカン臓をかぶつて

いやといる稚園打されて、質に





